

令和7年度 第1回 北区地域医療会議 要点記録

開催日時 令和7年7月3日（木） 午後6時

開催方法 オンライン（ZOOM）

出席者（敬称略）：碓井亘、日吉賢次、大場庸助、藤井香織、宮崎国久、岡崎恭次、今泉貴雄、福田吉治、矢島鉄也、板垣亮平、須賀田元彦、小畑正孝、堺弘治、島崎陽子、大場栄作、加藤富男、筒井久子

オブザーバー：栗生企画課長、田名邊地域福祉課長、新井高齢福祉課長、泉介護保険課長、高橋生活衛生課長、村田保健予防課長

事務局：菊池課長、齋藤係長

欠席者（敬称略）：廣瀬瑞紀、橋本明子、尾本保健所長、茅根国保年金課長

1 議事

（1）かかりつけ医機能等の啓発・病院情報の提供について

＜事務局＞

①（仮称）北区版医療情報ネットの構築

（説明）

- ・「在宅療養資源検索システム」や「かかりつけ医情報提供機能」といった機能を備えた（仮称）北区版医療情報ネットについて説明。利用者が本人情報を入力すると、必要な医療・介護サービス名や費用が表示されたり、医療機関や介護サービス事業所が提案されたりする。
- ・一部機能は条件付きで実現可能と業者から回答があった。

（主な意見）

- ・システムの具体的なイメージがつかない。
- ・個別の状況ではなく大きく分けたモデルケースを表示させてもいい。
- ・サービスの種類も、それに対する費用も分からないので、そのぐらいの精度でいいのでは。
- ・情報の精度に課題があり利用者に誤解を与える可能性がある。
- ・今までシミュレーションを紙版で作っていたことがあるか。それを基にWeb版を作ってもいいのではないか。
- ・居住場所からエリアを限定して介護や調剤薬局、訪問看護の事業所が地図上に表示されるといい。
- ・シミュレーション結果が逆効果になり在宅療養を選択しなくなるか心配。

②かかりつけ医関連情報

（説明）

- ・賛否アンケート機能と閲覧者投稿機能を含む。

（2）災害時における医療的ケアを要する者の把握・情報共有について

(説明)

- ・医療的ケア児・者の情報が完全に把握されておらず、災害時に優先順位等で混乱が生じる。

(現状の取り組み)

- ・避難行動要支援者名簿（地域福祉課）や在宅人工呼吸器使用者で希望者に対して災害時個別支援計画（障害福祉課）の作成。
- ・日本糖尿病協会と日本糖尿病学会による「糖尿病医療支援チーム」(DiaMAT) の設置。
- ・居宅支援事業所による避難方法の事前把握と訓練。

(今後の課題)

- ・医療的ケア児・者の正確な人数把握。
- ・災害時連携可能な医療機関等の情報共有システムの構築。
- ・行政主導による連絡網・役割分担の明確化。

(主な意見)

- ・地域医療会議や団体別連携を強化、具体的な窓口設置を提案。
- ・災害発生直後の 72 時間対応を中心に、課題を把握し拠点整備が必要。

2 今後の対応

(1) かかりつけ医機能等の啓発・病院情報の提供について

- ・アンケート実施 北区版医療情報ネットの構築要否に関するアンケート。
- ・個別説明会 必要に応じてオンライン形式で開催。

(2) 災害時における医療的ケアを要する者の把握・情報共有について

- ・災害対策検討 医療的ケア児・者の情報共有の仕組みや連携体制整備